

平成 29 年 8 月 9 日  
日本測量者連盟事務局

## 2018 年の FIG Congress と論文募集のご案内

2018 年の FIG Congress（国際測量者連盟国際会議）は、トルコ共和国のイスタンブールにて 5 月 6 日から 11 日まで開催されます。

その論文募集要領が FIG のウェブサイト（<http://www.fig.net/fig2018/call.htm>）で公表されています。その概要について、ご案内申し上げます。

なお、FIG のウェブサイトは更新される可能性がありますので、論文投稿等に当たっては、必ず FIG のウェブサイトで最新の情報を確認されるようお願いいたします。

### 記

#### 1. 主催

国際測量者連盟（International Federation of Surveyors, FIG）

トルコ測量士・登記技術者会議所(Turkish Chamber of Survey and Cadastre Engineers, CSCE)

#### 2. 開催時期と会場

2018 年 5 月 6~11 日

トルコ共和国、イスタンブール、イスタンブール会議センター（Istanbul Congress Center）

#### 3. 全体テーマ

今回の国際会議の全体テーマは以下のとおりです。

“Embracing our smart world where the continents connect:  
enhancing the geospatial maturity of societies”

すべての大陸が繋がるスマートワールドを進めよう：

社会の地理空間的成熟度を高めよう

FIG のウェブサイトによれば、「空間処理可能な」社会を築くためには、信頼性の高いデータが、自由に低コストで提供されることが必要であることが数年前に指摘されており、今日では、持続可能な繁栄を達成するには、「空間処理可能な」社会から、市民や政府が地理空間情報のデータやツールを知的に使いこなすことができる「空間処理に成熟した」社会へと発展させることが必要で、それを確実に進めるためには、さらなる課題があるとされています。

また、地理空間情報に関する近年の技術的な進歩は、地理空間情報の大規模な整備や提供、それを利用

きる低価格な情報端末の普及、IoT や IoM といった情報通信処理環境の進歩など、多岐にわたっており、地理空間処理に成熟した社会となる環境は整っていると考えられています。

そのような中で、すべての人々や政府が持続可能な開発目標 (SDGs) を達成していくためには、彼らが地理空間情報や各種のツールを適切に利用できる能力をさらに高める必要があり、測量技術者や地理空間情報技術者は、業務の中で得られた経験や知識を彼らと共有していくことが必要とされています。

今回のテーマは、FIG のこのような考えに沿って、地理空間処理に成熟した社会を目指していくことを示しているものといえるでしょう。

#### 4. 論文募集の分野とトピックス

FIG Congress 2018 は、FIG の 10 コミッションのすべてにとって、その年の主要行事です。従って、以下の通り、各コミッションが選定したトピックスに関して論文の投稿が求められています。一般募集の論文については、審査の無い論文と審査の有る論文があります。どちらについても投稿にあたっては、FIG の各コミッションが選んだ次のようなトピックスを参考にしてください。

##### Commission 1 (専門職の標準と実務、Professional Standards and Practice)

専門職の倫理、国際境界、測量における女性、資格や専門職のステータスの共通認識

##### Commission 2 (専門職の教育：Professional Education)

境界を越えたスマート測量士の教育、認定と品質保証、3-D と BIM(Building Information Modeling) のカリキュラム、新興の測量者 (スマートサーベイヤー、パラサーベイヤー、群衆) の教授法、革新的な学習法と教授法、職業教育の需要と供給

##### Commission 3 (空間情報の管理：Spatial Information Management (SIM))

SDI、e-Governance と意思決定支援 SDI、SIM、VGI、SDI の統合、SDI の相互運用性、3D/4D 地籍、土地と空間情報管理のためのクラウドソーシング、2D/3D/4D 地理空間モデル、Web とモバイル GIS、ビジネスモデルと SDI、NSDI の重要性

##### Commission 4 (水路測量：Hydrography)

基準とガイドライン、教育訓練、新しい科学技術、海洋の空間情報管理、水路測量と社会、海底マッピングと海面モニタリング、海洋空間情報管理、データ構造、海洋空間データ基盤の構築、海洋情報システム

##### Commission 5 (測位と測定：Positioning and Measurement)

基準と実務ガイドライン、鉛直基準座標系、GNSS、地上及び航空レーザスキャニング、経費効果の高い測量手法、マルチセンサーシステム、ユビキタス測位、測位と計測学、地震予知、鉛直測地網

#### Commission 6（応用測量：Engineering Surveys）

変形計測、自然災害対応の工学的測量、精密測高、最新の工業計測技術、レーザスキャニングの応用、マシンコントロールとガイダンス、モバイルライダー、UAV アプリケーション

#### Commission 7（地籍測量と土地の管理：Cadastral and Land Management）

都市・農村地域における土地登記モデル、デジタルからスマートへ土地管理の新しいパラダイム、データ収集のためのスマートデバイスの役割、IoT、遠隔・現地データ取得のための新技術、社会主導型土地登記システムにおける民間・公共セクターの役割、土地所有の安全確保、土地所有のグローバル指標、スマート土地管理のためのスマートプロシージャ、地籍 4.0、新技術が土地権利と地籍システムに与える影響、社会主導型第三者収集データの検証、スマート土地登記システムにおける公共信託／公表による不正防止、ブロックチェーン技術、技術主導による土地登記における自主的なガイドライン、持続可能な開発目標（SDG）を支援するための土地政策と改革、価値変化に対する補償、多次元および多時間地籍、データ保護とデータの安全保障／個人の権利、土地登記における対等なパートナーとしての土地所有者

#### Commission 8（空間の計画と開発：Spatial Planning and Development）

大都市における環境の課題、都市と地方の土地利用計画、計画の政策と環境の改善、開発計画における非公式な定住問題、都市化の計画と管理、都市計画における PPP、グローバルな水資源管理、農村開発と土地の統合

#### Commission 9（不動産の評価と管理：Valuation and the Management of Real Estate）

不動産課税、集合鑑定技術、大規模土地取引、不動産評価の傾向、市場が存在しない物件の評価手法、鑑定士と鑑定基準、不動産の財務と投資、不動産市場、収用と保証、不動産実務と持続可能な都市

#### Commission 10（建設の経済と経営：Construction Economics and Management）

建設積算と経費管理、調達と入札、BIM、建設の標準と規則、建設経済とグローバルな建設のトレンド、革新的な建築と入手可能な住宅、持続可能な建設と開発

また、不動産市場調査と標準ネットワークに関する FIG の特別委員会、測量・計測の歴史（FIG の常設機関）の分野についても論文を募集しています。

## 5. 論文募集スケジュール

### 査読なし論文

2017年11月15日

アブストラクト提出〆切

2018年1月15日

受理通知

### 査読論文

2017年10月1日

アブストラクト及び論文(本文)の提出〆切

2017年12月10日

受理通知と修正要求

2018年1月4日

修正済み査読論文提出〆切

2018年2月1日

受理通知と2回目の修正要求

### 全ての論文

2018年2月20日

全ての論文(本文)の提出〆切及び論文著者の参加登録〆切

2018年3月10日

テクニカルプログラム案の公表

## 6. 関連する FIG のホームページ

FIG Congress 2018 に関する情報については、以下の FIG ウェブサイトをご参照ください。

FIG Congress 2018 のトップページ

<http://www.fig.net/fig2018/>

論文募集のページ

<http://www.fig.net/fig2018/call.htm>

重要な期限

<http://www.fig.net/fig2018/dates.htm>

アブストラクト提出のページ

<http://www.fig.net/fig2018/submission.htm>

## 7. その他

FIG Congress 2018 に関して質問等がある場合は、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先 日本測量者連盟事務局 [ifs-office@jsurvey.jp](mailto:ifs-office@jsurvey.jp)